

環境造形Ⅱ	報告課題第1回 解説	年 組 氏名
-------	------------	--------

## 奈良と彫刻 解説

### ●奈良の歴史的な彫刻作品

東大寺南大門にある彫刻作品について学びましょう。

#### ▶金剛力士像

金剛力士像とは邪悪なものを寄せ付けない存在として寺院の表門に祀られることが多い彫刻です。元々は執金剛神（しゅこんごうしん）という神様でしたが、仏の聖域を敵の侵入から防ぐために二体に分れ金剛力士となりました。有名なのは法隆寺、興福寺、そして東大寺の金剛力士像です。



東大寺の南大門の金剛力士像は、鎌倉時代に運慶・快慶によって作られました。

高さはなんとそれぞれ 8.4m！3000 個の木材を組み合わせて作る、寄木造り（よせきづくり）によって作られています。現在は国宝に指定されています。



金剛力士像

#### ▶阿吽

阿吽（あうん）という言葉を知っていますか？息がぴったりなことを阿吽の呼吸（あうんのこきゅう）と言ったりしますね。阿吽とはもともと、インドの言葉で宇宙の始まりから終わりまでを表す言葉とされました。

東大寺の金剛力士像では左に置かれている口を開いたものを「阿形（あぎょう）」、右に置かれている口を閉じたものを「吽形（うんぎょう）」といいます。この2体が仏様を守っています。



狛犬

実はもっと他にも阿吽の彫刻はいます。

神社を守るための狛犬や、沖縄で家の守り神として置かれるシーサーなどもそうです。



シーサー

#### ▶奈良市内の彫刻作品

奈良市内にはどんな彫刻作品があるのでしょうか？身近なものとしては、近鉄奈良駅前にある行基菩薩像の銅像など、見たことがあるのではないのでしょうか。

また彫刻のあるまちづくり事業として市内各地に現代彫刻が設置されています。

「華」 栄 利明

「花と一輪車と少年」 杉村 尚

「流星と四角い風」 齋部 哲夫

「軌跡の器」 竹股 桂

「平和の調べ」 大矢 由造

「21世紀への飛躍」 神箸 勝

「むこう側の見える石」 杉村 仁

「今昔のひだまり」 村松 達也

など、参考にして調べてみてください。



近鉄奈良駅前にある行基菩薩像